

檜山（ひやま）の紹介

檜山地域は、北海道の南西部、渡島半島の日本海側に位置し、南北に細長い地形です。大成沖27kmにある離島の奥尻町を含む7町で構成されています。総面積は2,630㎓で佐賀県よりやや大きく、西部は日本海側に面して平野が少なく、7町のうち5町が海岸線を有しています。



奥尻町/球島山



気候

比較的温暖で、2018年の年平均気温は10.4℃と全道でも気温の高い地域ですが、夏でも30℃を超えることが少なく避暑地としても最適です。積雪量は沿岸部では少なく山間部では比較的多くなっています。

自然

海岸沿いには断崖や奇岩が連続し、夏には穏やかに澄みわたった海と美しい夕日を眺めることができます。内陸部ではスギやヒバ、トドマツなどの森が広がり、豊かな自然の中でのんびり過ごすことができます。

厚沢部町/アスパラ



食

農林水産業を産業の中心としており、農産物・水産物ともに恵まれた豊かな地域です。各町自慢の新鮮な食材に出会うことができます。地元産の日本酒やワインなども種類が多く、人気があります。

文化

道内有数の歴史と文化を誇る地域です。ニシン漁で栄えたほか、北前船の往来も多く、関西方面の文化も取り入れて発展してきました。歴史・文化遺産、伝統的なお祭りなどが大切に受け継がれています。

江差町/純神大神宮夜祭



今金町：今金男しゃくの花

